

嚥下通信

Vol.24

嶋田病院 摂食嚥下研究会

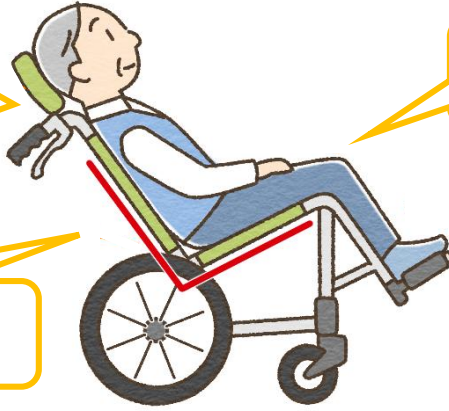
テーマ

リクライニング車椅子の適切な角度を知ろう！

食事でのリクライニング車椅子の正しい姿勢

首は反らないようにクッションを挟む

背もたれは30~90°



膝は90°

足はフットレストに乗せる

リクライニング角度の違いによる影響とは？

角度		適切な食形態
30°	重度の嚥下障害への対応	ゼリー/ペースト等のとろみ調整をした食物
45°	自己摂取には不適	ゼリー/ペースト/ソフト食/ムース食/5分菜食
60°	リクライニングによる誤嚥防止の効果は低下	ゼリー~常食

当院での取り組み



当院では、摂食嚥下研究会が作成した**オリジナルの角度計**をベッドやリクライニング車椅子に取り付けることで姿勢の調整や設定を行なっています。

ポイント

誰が姿勢を調整しても、一貫した角度での食事が可能。より食事摂取時の安全性が保たれる。

食事姿勢の調整はリハビリスタッフを中心に多職種で連携して行うことが重要とされています。

また、患者さんによってそれぞれ体格や使用している車椅子も異なるため、その人に合った姿勢の調整が重要です。

理学療法士 兼八・下牧

掲示許可シール
貼付スペース